

私たちの「仲間たち」

280

森を歩けば、キミがいる…

石坂の森の駐車場から橋を渡って右に折れば東の尾根道に向かう。左にコースをとれば中の尾根道か田んぼ通りとなる。森の鳥に早く会いたければ右の方だろう。メジロやエナガがすぐ出迎えてくれる。その中にコゲラが混じっているかもしれないし、ずんぐりしたアカゲラも出てくる可能性が大きい。

森には3種類のキツツキの仲間がいる。コゲラ、アカゲラ、アオゲラである。観察しやすいのもこの順番で、一年中この森で過ごしている。木や枝に縦に止まり下から上



▲鳩山の動植物
アカゲラ (キツツキ科)

に向かつて樹皮をつつきながら登っていく。上から下に向かつて駆け下りる鳥もいる。ゴジュウカラやキバシリだがこの森にはいない。ほとんどは樹皮の間に潜む昆虫類を食べる。そのために盛んに木をつつく。「キツツキ」という名前の由来もそのあたりからきているのだろう。しかし、キツツキの仲間の名前の語尾はすべて「ケラ」になっている。だから「コキツツキ・アカキツツキ・アオキツツキ」だっというのではないかと理屈を言いたくなる。調べたら「ケラ」とは「キツツキ」の古名なのだそう。江戸時代以前はそう呼んでいたらしい。「アカキツツキ」より「アカゲラ」のほうがずっと由緒正しい名前だったのである。

東の尾根道のやや急な坂道を登りきると、間もなく東松山市民の森と接する遊歩道に出る。一息入れて呼吸を整える。突然、ケツケツケツという甲高い鋭い声か、沢地の奥から森の静寂を切り裂くようなピヨーツ、ピヨーツという声が聞こえてくるかもしれない。前者はオオタカで、後者はアオゲラの鳴き声だ。

今日の主人公はアカゲラ (写真の関係上)だが、明日あなたが森を歩けばだれと会えるだろう。森には約80種の野鳥が住んでいる。(写真・小倉憲貴・文・鈴木伸)

人口と世帯

4月1日現在、()は対前月比		
人口	14,857人	(-33)
男	7,369人	(-7)
女	7,488人	(-26)
世帯	5,802世帯	(+8)
3月の出生数	4人	

5月の納税・納付

固定資産税	(第1期)
軽自動車税	(25年度)

編集日記

▼小学校の入学式と幼稚園の入園式では、多くの方々の笑顔があり、私自身も嬉しい気持ちになりました。それと同時に、旧友との再会もあったことで時の流れを感じ、感慨深い気持ちにもなりました。そして、慣れない環境に戸惑いながらも、一所懸命に人の話を聞こうとしている新入生の姿に自分を重ねました。

4月から新しく広報担当となり、今月号が担当として最初の広報紙となりました。前任者をはじめ、多くの皆さまの多大なご協力をいただき発行することができました。関係者の皆さまに深く感謝いたします。

今回編集を担当し、新米なりにも、紙面ひとつにも様々なドラマや発信側の想いがあることを実感しました。そして、文章はもろろん、写真の「伝える力」についても考える機会ができました。今後とも「広報はとやま」が皆さまに愛される広報紙となるよう、まだまだ未熟な「伝える力」を磨いていきたいと思います。Ⓚ